



2014（平成26）年11月7日
日本女子大学

第十回「平塚らいてう賞」受賞者を決定

＜奨励＞ 岩田 三枝子 氏

日本女子大学は本日、研究者・学生の顕彰・奨励を目的とした第十回「平塚らいてう賞」の受賞者を決定しましたので、お知らせいたします。

本年は顕彰4件と奨励4件の応募がありました。厳正な審査の結果、奨励1件を決定し、顕彰は該当なしとしました。受賞された方を以下に紹介します。

＊「平塚らいてう賞」

女性解放や世界平和のための活動に人生を捧げた平塚らいてう氏（1906年日本女子大学校卒業）の遺志を継承し、男女共同参画社会の実現および女性解放を通じた世界平和に関する研究や活動に対する顕彰と奨励をはかることを目的として2005年に創設した賞。

■ 受賞者

奨励（1件） 岩田 三枝子 氏
（東京基督教大学 大学院 神学研究科 神学専攻 博士後期課程）

■ 贈賞式

本年12月13日（土）14時から、日本女子大学目白キャンパス新泉山館にて行います。

＜選考委員＞

佐藤 和人 〔日本女子大学学長〕
中畠 邦 〔日本女子大学名誉教授〕
出淵 敬子 〔WILPF（婦人国際平和自由連盟）日本支部副会長、日本女子大学名誉教授〕
羽田 澄子 〔記録映画作家〕
大沢 真知子 〔日本女子大学 現代女性キャリア研究所所長〕

—この件に関するお問い合わせ先—

日本女子大学 広報渉外課内「平塚らいてう賞」事務局
〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1
Tel:03-5981-3163 Fax:03-5981-3164
E-mail:raiteu@atlas.jwu.ac.jp
URL:http://www.jwu.ac.jp/st/grp/raiteu/



第十回「平塚らいてう賞」選考委員発表コメント

第十回受賞者の選考にあたり、私どもは候補者の業績を広く、世界の女性のさらなる解放、問題の解決、平和問題や地域社会への公正な目配りと着実な行動の継続という観点から論議し、以下の諸業績に対して「奨励」に値するとの結論に達しました。

ご業績の特色や褒賞に値する観点は下記の通りです。

<奨励>

受賞者：岩田 三枝子 氏

研究テーマ：「大正期における婦人運動－覚醒婦人協会と賀川ハルを中心に」

受賞理由：明治・大正・昭和期を通じて、社会事業家・思想家として著名な賀川豊彦の妻、賀川ハルに焦点をおいた研究である。

女性の解放や女性労働の改善・協同組合の必要性を主張した雑誌『覚醒婦人』の発行や講演会などを通じて、覚醒婦人協会の活動を明らかにしている。

従来注目されていなかった協会への着眼、その中心となったハルの信仰や思想を対象とすることで、大正期の女性運動に新しい展望を与えた。同時期の欧米の女性解放の動向や日本の女性活動家、市川房枝、平塚らいてうらとの関係などの解明も期待できる。

以上